

## 検討会の 背景・目的

- 石油コンビナート災害における事業所、消防機関の災害対応をより安全で効果的に行うため、先進技術の活用が推進されるよう、学識経験者、行政機関、消防本部、業界関係者等をメンバーとした検討会を設置
- 計4回開催（令和元年8月～令和2年2月）
- 先進技術を活用した石油コンビナート災害対応の未来像を提示

## 【令和2年度】石油コンビナート災害対応への先進技術活用検討会

## 検討会の 背景・目的

- 石油コンビナート災害対応に係る先進技術導入箇所の明確化
- 令和元年度検討会メンバーにより引き続き検討（18名）
- 計3回開催（令和2年11月～令和3年3月）
- 災害対応機関の防災体制の現状及び先進技術導入検討箇所を整理

### ①防災体制の整理

石油コンビナート災害対応に係る先進技術導入箇所を明確にするために、各機関における防災体制の現状を詳らかに整理

- 関係行政機関（消防庁、都道府県、消防本部）
- 特定事業所
- ドラゴンハイパー・コマンド・ユニット、スクラムフォース、大容量泡放射システム

### ②先進技術導入検討箇所の整理

①の結果を基に、各委員（各機関）により先進技術導入検討箇所を提示

- 3点セット（大型化学消防車、大型高所放水車、泡原液搬送車）の高機能化
- 大容量泡放射システムの高機能化
- 災害発生時の事業所リモート対応（防災管理者、防災要員等の遠隔対応）等